

樹の本

健康で心ゆたかな子 深く考えくふうして学ぶ子 進んではたらく子

12月号 杉並区立杉並第六小学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sugi6shou/>



「ラグビー憲章から学ぶこと」

副校長 山澤 拓郎

先月、11月2日に、日本中に感動と希望をもたらしたラグビーワールドカップ2019日本大会が無事閉幕しました。今大会の盛り上がりは、ラグビーのゲームの魅力とともに、選手の振る舞いなどから、ラグビーの持つ「品位」「情熱」「結束」「規律」「尊重」という5つの価値が伝わり、日本人の心に響いたからとも言われています。この5つの価値は世界ラグビー憲章にあげられている5つのコアバリュー（最も大切にすべき価値）のことです。ラグビーの起源にも触れながら、この5つの価値について紹介します。

中世イングランドの村祭りで行われていた村人たちがふたつのチームに分かれてボールを奪い合いゴールしようとする遊びがフットボールの起源でした。手でボールを奪い合うとプレーヤー同士の肉体的接触が激しくなり危険なので、手を使わずに足だけを使うことを主張して生まれたのが、「サッカー」です。一方、危険な肉体的コンタクトをしっかりとした規律のもとで紳士的に楽しもうと主張して生まれたのが「ラグビー」です。経緯はもっと複雑であり、大まかな説明ではありますが、こうしてサッカーとラグビーはフットボールから分化していきました。そうした背景からラグビーには、肉体的コンタクトを危険とさせないためのしっかりとした規律が求められています。そこでつくられたのが、ラグビー憲章であり、そこには大切にすべき5つの価値が示されています。

◎品位 (INTEGRITY)

品位とはゲームの構造の核を成すものであり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。

◎情熱 (PASSION)

ゲームに対する情熱的な熱意を持つことは、興奮を呼び、愛着を誘い、グローバルなラグビーファミリーへの帰属意識につながる。

◎結束 (SOLIDARITY)

ラグビーは、生涯続く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な相違を超えた忠誠心へとつながる一体的な精神をもたらす。

◎規律 (DISCIPLINE)

規律とはフィールドの内外においてゲームに不可欠なものであり、競技規則、競技に関する規定、ラグビーのコアバリューを順守することによって表現される。

◎尊重 (RESPECT)

チームメイト、相手、マッチオフィシャル、そして、ゲームに参加する人を尊重することは、最も重要である。

ここにあげた5つの価値は単にラグビーという競技だけに通用するものではなく、社会のなかで何事かをなそうとする場合には、大変重要なことであると思います。社会ではその人や組織に「品位」がないものは何も成し遂げることはできません。みんなで力を合わせて何かに取り組むときには「結束」や「規律」はとても重要です。そして、仲間ばかりでなく自分たちを取り巻くすべての人々を「尊重」することは、人として何よりも大切なことです。

このほかにも「One for all, All for one」（一人はみんなのため、みんなは一人のため）、「No side」（戦いの後はもう敵味方ではない。お互いの健闘をたたえ合う。）といったラグビーの精神をあらわす言葉には、私たちが世の中で生きていくために大切にしなければならないことが、多く含まれていたのではないのでしょうか。いよいよ2020年には東京オリンピックパラリンピックが開催されます。今後も様々なスポーツの体験や観戦を通じての感動や興奮とともに、そこから学ぶ大切な価値について、学校でも子供たちに折に触れて伝えて行きます。